

データ分析・活用で新たな価値創造につなげます！

中小
企業

DX データ 活用研修

2023年 **7/25** (火) **13:00～16:30**
(第1,2回のみ13:00～16:00)

全**8**回
開催

会場 まるまるひがしにほん 東日本連携センター（大宮駅徒歩1分）

対象 さいたま市内に事業所のある企業

定員 10社（最大2名/企業） **費用** 1名参加：1万円 2名参加：1万5千円

DXの必要性は理解しつつも「結局DXを推進するためには、何をすればいいのかわからない」という企業が多くみられます。DXの根幹にあるのは「データ活用」です。データを使って新たな価値を生み出す「データ付加価値向上」と言い換えることもできます。本研修では、データ分析・活用の基礎的なスキルを習得するとともに、自社と顧客視点から必用なデータを改めて検証し、課題解決に繋げるワークショップを行います。「データ活用」を基礎から学びたい方は是非ご参加を検討ください。

座学

データ分析・活用で必要な知識の基礎を事例を交えて理解します。

① 7/25(火) データ活用とは

② 8/1(火) データ分析とは

自社の顧客視点に立ちながら改めて自社業務の課題を抽出し、その課題解決に繋がるデータとは何か、既にあるデータや新たに取得すべきデータが何かをワークショップを通して整理し次の実証段階へ繋がります。

③ 8/22(火) 顧客価値共有

④ 8/29(火) As-Isシナリオ作成

⑤ 9/5(火) To-Beシナリオ作成

⑥ 9/12(火) 情報・データ抽出

⑦ 9/19(火) Can-Be・Can-Do作成

各社でデータ活用実証期間（講師によるフォローアップ）

ワークショップで整理した内容を自社で実証することで、データ活用の第一歩を踏み出す機会を創出します。

⑧ 12/5(火) 最終成果発表

実証

お申込み 参加はQRコード または URLよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/S7XR46Eg3c>

募集締め切り

6/27
(火)



公益財団法人さいたま市産業創造財団 事業企画課：丸山、井上、林
電話：048-851-6652 / E-mail：dx@sozo-saitama.or.jp

第1部 座学講座

データ活用基礎

第2部 ワークショップ

価値創造編

※ワークショップは古賀氏を含めIVIの講師4名体制で実施



埼玉大学
大学院理工学研究科 教授

平松 薫氏

1971年生まれ。NTTコミュニケーション科学基礎研究所に入所後、NTT空間株式会社等を経て、2021年4月より埼玉大学大学院理工学研究科 教授を務める。専門は人工知能、メディア情報処理、地理情報処理。企業における実務経験に基づき、データサイエンスに関する技術者および研究者の育成と、研究開発に取り組む。



IVI技術統括顧問

古賀 康隆氏

1961年生まれ。(株)東芝生産技術研究所入社後、東芝生産技術センター研究主幹として活躍、2016年には(一社)IVI理事を務める。定年退職後には、さいたま市産業創造財団コア専門家、岩手県産業振興センターアドバイザーとして中小企業支援を実施。2019年に東京理科大学非常勤講師を務める。工場のスマート化指導を始めとしたDX推進に関する豊富な知見を持つ。

1日目

- データ活用とは
データ活用事例・得られるメリット
(客観的証拠、正確性・確実性、時間短縮)
- データ活用を支援する技術
オフィス系ソフト、分析系ソフト、AI系(OCR、画像認識 他)
- データを活用するためのポイント
問題を理解して目標を具体化、費用対効果を計算して関係者を説得

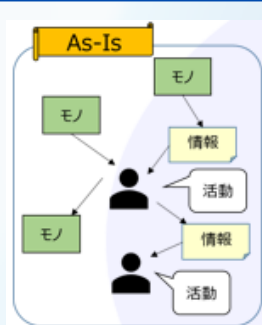
2日目

- データ分析とは
データ分析の進め方とゴール、プロジェクトの流れ
エクセルでできるデータ分析(演習)
- 作業を自動化するための技術
RPA、OCR、画像認識技術 等
(技術の紹介)

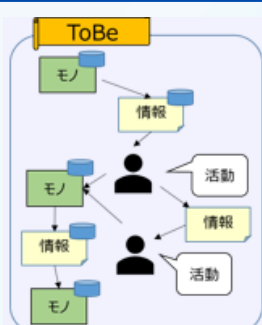
Step1 顧客から求められている価値共有



Step2、3 As-Is (現状) + データ価値検討



Step4~6 ToBe (目指す姿) + データ価値創造



Step7 CanBe、CanDo

CanBe, CanDo		
STEP	CanBe	目標
1		22'06
2		22'09
3		22'11
4		23'02
CanDo		
STEP	CanDo	目標
1		22'07
2		****
3		****
4		****

本研修の座学講座の1日目では、これまでの事例からデータ活用で得られるメリットを整理し、中小企業の現場に適したデータ活用方法を見つけることを目指します。また2日目は、データ活用の核となるデータ分析の概要について学び、エクセルを使った簡単なデータ分析演習や、RPAやOCRなどの最新技術の体験を通して、データ活用に必要な技術の使い方を理解することを目指します。

ワークショップでは、顧客から求められている価値に対して「自社が出来ていないこと」をデータ視点で、「データはあるが活用できていないデータ」、「そもそも今ないデータ」を抽出し、価値のあるデータを想像しながら現状把握、そして目指すべき姿を創造します。最終的には、CanBe、CanDoで「何をしていくことでどうなるのか」を挙げていき、自社で取り組むストーリーをより具体的な形でまとめていきます。

ビジネスにおけるデータの活用

- ・販路検証
- ・Netflixの動画推薦システム
- ・3Dで上製し作品を複製しているユーザー同士は、お互いを見ている作品を推薦
- ・AIがスト・画像、動画を生成し、実際に試して良い(悪)を採用
- ・悪いAIのみで比較評価し、AIがデザインを改善

データに基づく新しいビジネスモデル

- ・POSデータから売れている商品を把握し、在庫の最適化、セール・キャンペーン戦略を策定
- ・人口分布に基づき、最適な出店計画の策定
- ・自社・他社の結合店舗、交通量、年齢層等も考慮